

日進市教育委員会定例会（令和元年8月）会議録

1. 日時

令和元年8月7日（水曜日）14時から15時15分まで

2. 場所

日進市役所 南庁舎 第5会議室

3. 出席者

〔委員〕

久保田力（教育長）、森本直樹、藤井美樹、小林秀一、伊藤志門の各委員

〔事務局〕

市川秋広（教育部長）、出原真路（教育部次長兼学校教育課長）、加藤誠（教育総務課長）、高田由紀（学校教育課主任指導主事）、山本健一（学校教育課指導主事）、櫻井正弘（学校給食センター所長）、鬼頭聡（生涯学習課長）、宇佐美香津美（図書館長）、後藤幸宏（学校教育課主幹）、市川英子（図書館主幹）

〔書記〕

嶋崎典佳（教育総務課課長補佐）、石井智史（教育総務課係長）、山田優子（教育総務課主事）

4. 欠席者

成田ゆき江（教育長職務代理者）

5. 傍聴の可否及び有無

傍聴可、傍聴者なし

6. 会議録署名者

久保田力教育長、藤井美樹、小林委員の各委員

7. 議事の経過

（開会）

（会議録署名者の決定）

（会議録の承認）

（教育長報告）

（議事）

議案第49号 日進市スポーツセンター条例施行規則の一部改正について

報告事項

事務局報告

【教育総務課】

令和元年度第2回日進市議会定例会一般質問・答弁内容〔資料No.1〕

教育委員会の後援等名義使用等について〔資料No.2〕

事業等報告について〔資料No.3〕

【学校教育課】

事業等報告について〔資料No.4〕

【学校給食センター】

事業等報告について〔資料No.5〕

【生涯学習課】

事業等報告について〔資料 No. 6〕

【図書館】

事業等報告について〔資料 No. 7〕

教育委員会行事予定（令和元年 8 月 8 日から 8 月 28 日まで）について

その他

8. 次回会議日程

定例会

日時：令和元年8月28日(水曜日)午後2時から

場所：市役所本庁舎4階 第2会議室

出席者：8月定例会と同じ

発言者及び発言内容

教育長

ただ今より令和元年 8 月定例教育委員会を開会します。会議規則の定めるところにより議事を進めさせていただきます。本日、成田教育長職務代理者から欠席の報告をいただいております。

本日の会議録署名者は、藤井委員、小林委員、私です。会議録調整者は、教育総務課山田とします。

本日の会議には傍聴の申し出はございません。

では、次第 2、7 月定例教育委員会の会議録の承認についてですが、事前に指摘のありました箇所を修正のうえ、あらかじめ配付されました会議録案の内容について、賛成される方は挙手をお願いします。

（全員異議なし）それでは、会議録を承認とします。

次に、次第 3、私からの報告でございます。

7 月 4 日、愛日地方教育事務協議会が春日井市役所で開催されました。会では、令和元年度の教育課程委員会の協力委員について依頼があり、日進市からは 4 名の先生が協力委員に選ばれました。

7 月 5 日、愛知県市町村教育委員会連合会の定期総会が、豊橋市で開かれました。会の中で「令和元年度全国市町村教育委員会連合会表彰」の伝達があり、本市の鈴木卓也元委員に、永年の功績が認められ、表彰状が授与されました。

7 月 10 日、愛知地区教育委員会連絡協議会の実務研修が、本市で開催されました。午前中は、図書館の研修室において、タブレットを使ったプログラミング教育の体験を参加者 20 名で体験しました。午後は、市内にある愛知ヤクルト工場を見学し、製造工程等の研修を深めました。

7 月 11 日、尾張部都市教育長協議会が愛西市で開催されました。会の中では、小中学校におけるタブレット型 PC 等の導入についてや、空調整備に向けた議題が協議

されました。タブレットについては、日進市も情報を求められ、今年度の導入に向けた動きについて情報提供をしてきました。

7月12日、近藤市長と共に、木祖村に表敬訪問をしてまいりました。当日は唐沢村長や青木教育長と懇談し、子ども達の相互の交流の更なる充実について、意見交換しました。先月は、相野山小学校の5年生が7月22日から3日間、木祖村のこだまの森にて、野外教育活動を、楽しく体験してきたと聞いております。

7月19日、令和元年度の1学期が終了し、市内各校で終業式が行なわれました。今学期も各校とも大きな問題も無く、全ての子らが、心身ともに健全に成長してくれたものと思っております。夏季休業中は、事故等に注意し、学校生活では体験できない、様々な経験を積んで、より逞しくなった顔を、2学期の始業式に見せてほしいと願っています。

7月20日、臨時の教育委員会を開催し、尾張東部で使用する教科書の採択について協議をしました。

7月26日、日進市立小中学校適正規模等検討委員会が開催されました。この会は3年に一度と言うことで、前回は平成28年度に開催されましたが、今後の人口推計等も考慮し、市内の各校の状況等について検討していただきます。

7月30日、愛知地区の教育長連絡会が、東郷町で開催され、各市町の当面の教育課題や来年度に向けての情報交換をしました。特に、夏季休業中の安全対策や、学校閉校日への対応等について情報を交換しました。

私からの報告は以上です。各委員から報告があればお願いします。

委員

7月31日、北部福祉会館にて開催された第1回日進市福祉会館運営協議会に出席してきました。

まず組織作りとして会長には社会福祉協議会の代表、副会長には教育委員会の代表が選ばれました。

議題は、昨年度の事業報告と今年度の事業計画、予算についてです。昨年度の事業報告の中で、会館の利用者数の報告を受けましたが、6館全体で243,800人でした。これは、前年度に比べて7,200人減ったとのことで、会館別で見ると東部福祉会館では若干増加しましたが、それ以外は減少しました。減少した理由としては、昨年の猛暑により、外に出向く人が減り、7、8月の来館者が減ったことや、会館によっては児童クラブを利用していた子どもが、放課後子ども教室を利用するようになったからというものでした。数字だけでは、福祉会館の利用離れが心配されますが、通常の原因は前年度と変わらないそうです。

次に今年度の計画についてですが、ほぼ昨年度と同じですが、昨年の同会議で話をさせていただいた、0歳児の親子の交流の場として開催されるひよっこクラブについて、今年度は開催回数を増やす予定ということでした。ひよっこクラブは、相野山福祉会館のみの開催ですが、いつも定員オーバーで、参加者は相野山学区以外の人を利用している状況です。昨年、他の会館でできないかと伺ったところ、他で開催する場所が無いということでしたので、このような対応になりました。

8月2日、市役所にて開催された第1回都市計画審議会に出席してきました。第1

部では通常の都市計画審議会の委員が審議する内容、第2部は都市計画審議会の委員に加えて、都市マスタープランや緑の基本計画の改定に向けて任命された臨時委員も参加して開催されました。

第1部では、名古屋都市計画用途地域及び生産緑地地区の変更について、審議会で認めました。また、名古屋都市計画都市公園の変更について、審議会で認めました。名古屋都市計画は名古屋市とその周辺を含めた自治体で定めているため、日進市単独では計画を変えることはできず、県との手続きを踏む必要があります。

第2部では、都市マスタープランの改定や緑の基本計画が前回改定から10年経つため、令和2年度までに改定することを目指し、そのスケジュールや手順等を説明していただきました。

教育長

他に報告はございませんか。（しばらく間がありません）ないので、次第4、議事に入ります。それでは、議案第49号「日進市スポーツセンター条例施行規則の一部改正について」を生涯学習課から説明をお願いします。

生涯学習課長

（資料に基づき説明）

教育長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はございませんか。（しばらく間があります）それでは、議案第49号に賛成の方は挙手をお願いします。（全員賛成）議案第49号を承認とします。

それでは、事務局報告に移ります。各課から説明をお願いします。

教育総務課長

令和元年度第2回日進市議会定例会一般質問・答弁内容
教育委員会の後援等名義使用等について
事業等報告について
（各項目について説明）

学校教育課指導主事

事業等報告（学校教育課）について
（各項目について説明）

学校給食センター所長

事業等報告（学校給食センター）について
（各項目について説明）

生涯学習課長

事業等報告（生涯学習課）について

(各項目について説明)

図書館長

事業等報告（図書館）について
(各項目について説明)

教育長

ただいまの説明についてご意見・ご質問はありませんか。ご意見、ご質問はございませんか。

委員

議会定例会一般質問・答弁内容の運動会の半日実施についてですが、教育委員会から学校へ指導することはあっても、教育委員会が決定するわけではないと考えてよろしいでしょうか。

教育総務課長

ご認識のとおりです。

委員

現状で、運動会の半日実施を検討している学校はありますか。

教育総務課長

現時点では、ありません。

委員

給食センターのセレクトランチについて、以前はデザートだけでなく、主菜のセレクトもあったかと思いますが、セレクトをする上で手間がかかり難しいのでしょうか。

学校給食センター所長

献立のことや食数が増えたこともあり、選択しやすいデザートをセレクトする形に移しました。

教育長

今年度まだセレクトランチは開催されるのでしょうか。

学校給食センター所長

12月に実施予定です。

委員

セレクトランチは名目が無くてもできないのでしょうか。

学校給食センター所長

センターとしてはセレクトランチを行えると考えていますが、現場側は厳しいというご意見も伺っています。名目が無くても可能かどうか、関係者と意見交換して検討したいと思います。

委員

日進市立小中学校適正規模等検討委員会の中で説明された「日進市立小中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」の改訂について、改定内容は確認できるのでしょうか。

教育総務課長

前は1回目の会議でしたので、現在は改訂作業中となります。今後検討を重ね、報告書としてまとめていく予定です。改訂作業の内容としては、文部科学省の基準を元に日進市の基準を設けていますが、その基準について調査・審議する形で進めています。

教育長

他にご意見、ご質問はございませんか。（しばらく間があり）事務局からの報告は以上となります。

次に、次第6その他、教育委員会の行事予定については、お手元の資料をご覧ください。特にお伝えしたい行事がありましたら説明をお願いします。

図書館

8月23日に令和元年度日進市子ども図書館会議 中高生ビブリオバトルを開催します。どなたでも視聴いただくことができますので、多くの皆さまに来ていただきたいと思います。

教育長

ただいまの説明について、ご意見、ご質問はありませんか。（しばらく間があり）教育委員会の行事予定は以上です。次に、次第7、その他として、全体を通して、ご意見、ご質問等があればお願いします。

委員

以前の定例会で教師の多忙化解消の話がありましたが、働き方改革の一環として、部活動指導者の働き方について、考えたいと思います。日進市では長時間労働解消プランを見ますと、部活動の実技指導員や外部人材を積極的に参画させるよう促していますが、実際の取り組み状況についてお伺いしたいと思います。

具体的には、部活動が少しずつ自粛している状況を見ると日進市の小中学校の部活動のあり方、取組状況について、また保護者がどのようなご意見を持っているのかをお伺いします。

学校教育課長

中学校部活動のあり方については、4市町（日進市、豊明市、長久手市、東郷町）の教育長と指導主事が定期的に集まり、平成29年から検討しています。平成30年の3月に改定、平成31年の3月に追加項目を加えて、部活動のあり方としてまとめ、保護者へも通知しています。

内容としては、通常の部活動については、平日1日を休養とする、土曜又は日曜のどちらかは休養とする、テスト週間は休養とする、長期休暇中も土日は休養とするといった内容を定め、1年後には、朝練は原則無しにする、平日は2時間、休日は3時間の活動とすることについて項目を追加し、保護者へ通知しております。

保護者のご意見という点では、熱心な部活等につきましては、空いた分の時間を運動系の部活ではクラブチームに所属させたり、吹奏楽の部活では保護者が会場を確保して練習する等で補ったりしています。

委員

部活動は指導者に関しても問題が出てくると思います。日進市では、外部指導員の人材派遣の実績はないとのことですが、今後検討するにあたり、指導をお願いするとなると様々な条件などが出てくるのではないかと考えられます。

指導することができる人材としては、一般社会人では教育経験のある人、教職を持っていて指導したいと考えている学生等が考えられると思います。

外部指導員を依頼するにあたっては手当てを考える必要があると思いますが、現状、手当てを出すことができるよう考慮されているのか、現在モデル校のようなものがあるのかお伺いします。

学校教育課長

モデル校はありませんが、過去からクラブ指導員という形で、指導をお願いしており、令和元年度では9名の方にクラブ指導員をお願いしています。総時間数1300時間を各校の要望に応じて配置しています。これは過去、人材不足の解消の視点で始めたものです。

多忙化解消の具体的な案は決めかねていますが、クラブ指導員の中には今年度はたまたま昨年度まで教員だった方が1名務めていただいていることから、そういったOB教師の対応も可能かと考えております。頻度や予算については、今後の調整にもよりますが、人材登録のような形をとって各校のニーズに合わせて補充することも検討したいと思います。しかし、クラブ指導員の課題としては、安定供給が難しい点が挙げられます。引き受けていただいている方が、急遽できなくなってしまうなどに対して、その部活動が継続して活動できるかどうかは課題です。

あくまでの学校の部活動は、先生が顧問として主体となり、そのサポートとして外部指導者の確保を検討していく必要があると考えています。

委員

民間のスポーツクラブ等と契約することで、高い技術を身につけることができるだけでなく、教員の時間を確保し、働き方改革の一環に繋がるのではと考えられますが、いかがでしょうか。

学校教育課長

現時点では、民間のスポーツクラブと契約までは考えておりません。

委員

部活動の顧問をしている先生のうち、専門性の無い先生が4割程度いるというデータもありますので、専門的な指導者が来ていただくと、そういった教員の負担や不安が解消されるのではないかと考えられます。また、地域スポーツ団体との連携も考えられますが、教員は対生徒の関係が築けていますが、外部指導員は対生徒の関係を好まないため、うまく連携できていない点も課題であると感じます。

現時点では、模索している段階なので、外部指導員を積極的に取り入れたほうがよいのか、少しサポートに入ってもらえる程度に留めるべきなのかについて、今の時点で決める必要は無いと思います。

ただ、専門的な指導は小学生にはまだ必要ない人が多いと思いますが、中学生については、ある程度専門性を持った指導者に指導を受けることで、将来性も出てくると思います。

現状、外部指導員を取り入れることが具体的に進んでいないことから、外部指導員が指導に入ると先生の存在感が弱まってしまう恐れがあるため、外部指導員の導入に消極的だとも考えられるのですが、いかがでしょうか。

学校教育課長

先生方に直接意見を伺ったわけではないですが、先生によっては、熱心に指導されたいと考える先生もいらっしゃると思いますし、補助的な形で協力してほしいという人もいらっしゃると思います。本来、得意ではないのに顧問になっている先生は、スポーツ指導に関しては外部指導者に来てほしいという要望もあるかと思います。そういった学校毎の要望に応じた人材を確保・供給ができれば良いと考えています。

委員

そもそも部活動の目的は、文化やスポーツに親しむチャンスを子どもたちに与えることで、勝つことや強くなることは本来の目的ではないにも関わらず、今は勝つことや強くなるのが目的になりつつあるのではと思います。

スポーツの世界では、早い段階で人材を育てていく点では専門家の目があったほうがよいと思うことは確かです。子ども達はクラブチームに通っている人が増えていますが、お金も時間もかかるので、親に負担がかかっています。部活動ではしっかりできないので、クラブチームへ所属するという体制が一般的になってしまうと、基本時間やお金に余裕がある人しかいけなくなるため、そういった点も考えると外部指導者が部活動に入って指導することへの垣根が緩くなると良いと思います。逆に顧問は、

外部指導者が学業に差し障りの無いような指導をさせることがないよう、子ども達を守るために必要だと思います。

学校教育課長

部活動のあり方について示したことで、過去の行き過ぎた活動に対し、少しブレーキをかけたというのが教育委員会の状況です。学校の枠を超えての活動についてはなかなか指導することはできませんが、今後、学校で部活動に関する人材について要望があれば、必要に応じて補充するよう対応をしていきたいと思っています。

委員

学校の部活動はスポーツや文化に親しむことはもちろんですが、勝つため、強くなるために技量をアップさせせる、体力をつける、チームワークを向上させることを目的に練習していることが一つと考えます。

また、部活動は生徒指導の一環だとも考えています。経験上、特に問題行動を起こしそうな生徒を部活動に参加させることによって、時間を有効に使わせることができ、またそのような生徒がレギュラーになったときチームが強くなる傾向がありました。

外部指導者を依頼する際は顧問の先生を助けることができる人が良いと思います。外部指導者に全て任せるのであれば、民間のスポーツクラブと変わらなくなり、好きな人だけが行き、行きたくない人は行かなくなります。

教員時代の経験から言えることとしては、部活動は生徒たちと打ち込むことで、教員と生徒との間で深い関係を築くことができるため、あくまでも部活動は教育の一環であると捉えたいと思います。

委員

現在、学校の部活動に入っている人はどれくらいの割合なのでしょうか。

学校教育課長

部活動の加入率等に関するデータは持っていません。

委員

自身の子どもが中学生の頃は、熱心な保護者の一人だったと思います。部活動をやりすぎることに對して、ブレーキをかけていくことは必要だという上での意見ですが、感覚としては部活動の時間が減ってしまうことは、練習の時間が減ってしまうこととイコールで、そうするとコンクールに出ても勝てないかもしれないという図式ができてしまい、ブレーキをかけることが一部でできなくなってしまうと感じます。今後、方法を模索していただく上で、コンクールに出ても勝つだけが目標ではないという意識の変化ができるような環境づくりも必要だと感じます。親としては、子どもが熱心にやりたいという気持ちがあるのにやれない状況があることは心苦しいことですし、ただ部活動の時間が減っていくことは頭ではわかっている、納得できない子どももいると思いますので、親としてどうフォローするのか、先生方も部活動のあり方についてどう指導するのかという環境づくりを学校全体でできれば良いのではと感じます。

教育長

教員の採用倍率が10年前は全国的に約12倍だったにも関わらず、今年度は3.2倍でした。これだけ落ちているのは民間の景気がいい背景はあるかもしれませんが、より良い人材がほしいという中で、現状では、新たな人を育てる未来の投資が欠けてきてしまっているのではないかと思います。

部活にどういったものを求めるのかを今一度市として考えていくべきだと思います。また、あり方については日進市だけでなく周辺地域では足並み揃えることができればいいのではないかと感じます。

平成19年の指導要領の総則に部活動に関しては「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、スポーツや文化及び科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。」と記載が追加されています。これにより、全国的に全教員が顧問として活動するようになりました。部活動は本来業務ではないという位置づけの中でやっている活動で、その活動に対するサポートについて検討しています。しかし、国はお金を出すと書いてはいますが、実際には平日の夕方のみで指導してくれるような人材がいなのが現状です。ただ、少しずつ状況は動いてはいますので、近隣市町である4市町と模索しながら検討していきたいと思います。

その他、ご意見、ご質問はございませんか。(しばらく間があり)

以上で、本日審議する議事はすべて終了しました。

ありがとうございました。それでは、これをもちまして、8月定例教育委員会を閉会します。次回8月教育委員会を、令和元年8月28日(水曜日)午後2時から、市役所本庁舎4階 第3会議室で開催予定です。